

聖母の小さな学校 通信

京都府教育委員会認定フリースクール
聖母の小さな学校
2023年
10月1日発行
第263号

ありのままの自分を受け止めることから全てが始まる！

朝夕の涼しさと共に、秋の気配の漂う頃となりました。平素は聖母の小さな学校の教育に格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。お陰様で、在籍する生徒たちも、自身の生活を整えること、聖母へ通うこと、この二つを安定させ、継続したものにすることを目指して励んでいます。一進一退を繰り返しながら頑張っています。

さて、第30回体育祭「スポーツフェスタ2023」を10月14日（土）に開催いたします（例年10月第2土曜日に開催）。聖母で学んだ多くの生徒たちが取り組んだように、現在の自分自身の状態に合わせて準備に取り掛かっています。例えば、自分自身の現実を受け止めようとする力を付けた生徒は、テーマについて取り組みます。その中で、卒業生が作成したパネル画や、そこに書かれた心の中から出てきた言葉に触れたりしますと、自身が心の奥の方に持っている不安や絶望感と同じものが表現されていることに気づいてゆきます。自分が無意識のうちに閉ざしていた、深く暗く沈む思いや際限のない悩みに気づいてゆきます。「このままずっと家から出られないのではないかな。私の将来はあるのだろうか。絶望しかなかった」「一番ひどかった時は、思っただけいけないのだろうかけれど、生きていたくないと思った」「食事をする気持ちもなく、一日中寝ていて、起きるとさらに大きな不安があつて……」などと自分自身を見つめるようになります。そういう中で、卒業生たちが、自分の辛さ、際限なく続く悩みなどに向き合うことによって獲得した「ありのままの自分こそ、本当の自分」という意識を、現在の生徒も持ちます。困難な自分、思うようにいかない自分に出会うことは、自分の他の面の発見（人格の発見）につながり、「私は私」という自己肯定感を持つことにつながります。新しい自分になる第一歩、豊かさへと向かう第一歩を踏み出します。

生徒たちは一生懸命、準備をしています。仮に当日、出席することができなくても、そのプロセスに大きな価値があります。希望をもって生徒たちと準備に励んでおります。どうぞ、皆様の応援をお願いいたします。ご来場をお待ちしております。

今月もよろしく願いいたします。



8/12 陶芸教室「ろくろ作り」



9/14 釣り大会（親海公園）

<今月の主な行事>

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 3日（火）月例保護者会 18:30～20:00 | 20日（金）お楽しみ遠足（行先相談中） |
| 7日（土）親子行事「グラウンド整備」 | 23日（月）ギター教室 |
| 10日（火）・24日（火）ウズベキスタン文化学習 | 25日（水）体育 26日（木）華道教室 |
| 14日（土）「スポーツフェスタ2023」 | 27日（金）月例保護者会 18:30～20:00 |
| 18日（水）・27日（金）陶芸教室 | 31日（火）校外学習「兵庫県立陶芸美術館」 |

《余録》

30年ほど前の卒業生（現在2児（高2・中2）の父親）のお父さんに会う機会がありました。「あの頃は、一生懸命だった。この子のために何ができるか、親として間違っていないか、聖母に通い、とにかく真剣だった。あの頃のことを今、思い出しても、忘れられない宝物で、心に灯をともしてくれ、温かい気がする。そして、子どもは親の姿をよく見ている。自分のことでこんなに真剣になってくれているということ、よく見ている」と力を込めて話されました。親と子の姿です。